

令和7年度 第3回 湖西市地域公共交通会議 会議録

日 時：令和7年12月16日（火） 13時00分～14時50分

場 所：湖西市役所防災センター2階

出席者：委員14人＋事務局4人

会長	片山 彰宏	湖西市 副市長
副会長	匂坂 隆拡	湖西市 都市整備部長
座長	杉木 直	豊橋技術科学大学 教授
委員	大久保 公雄	浜松バス株式会社 代表取締役社長
委員	服部 光真	遠鉄タクシー株式会社 運行営業部長
委員	山岡 広幸（欠席）	天竜浜名湖鉄道株式会社 常務取締役
委員	中山 國光	(社)静岡県バス協会 専務理事
委員	八木 雅子	中部運輸局 静岡運輸支局 首席運輸企画専門官
委員	新垣 賀規	遠鉄タクシー(株) 労働組合 執行委員長
委員	片山 広文 (代理：山本 あす香)	静岡県 交通基盤部 地域交通課長
委員	澤口 奨則 (代理：狩野 恭朗)	静岡県 浜松土木事務所 維持管理課長
委員	森田 克巳 (代理：鈴木 崇太)	静岡県湖西警察署 交通課長
委員	彦坂 昇	湖西市自治会連合会 会長
委員	石田 明正	湖西市老人クラブ連合会 会長
委員	森 宣雄	湖西市社会福祉協議会 会長
事務局	片山 徳二	湖西市都市整備部 都市計画課長
事務局	山下 祐介	湖西市都市整備部 都市計画課 係長
事務局	榊原 徹	湖西市都市整備部 都市計画課 主査
事務局	中村 優	湖西市都市整備部 都市計画課 主任

資料No.	議事次第
1	湖西市地域公共交通計画の改定について
2	コーちゃんバス路線・ダイヤ改正の検討方針について
3	地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について
4	静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会への申し出事項について
5	コーちゃんタクシー及び公共ライドシェア実証運行の状況報告

1 開会

2 会長挨拶

本日はお忙しい中、湖西市地域公共交通会議に御出席いただき、誠にありがとうございます。

委員の皆様におかれましては、日頃から市の公共交通行政に対しご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ニュースでご覧になられた方もいらっしゃると思いますが、昨日、遠隔操作型小型車の公道走行自動運転トライアルが市内で行われました。これはスズキ株式会社とロンビー株式会社が共同して運搬ロボットを開発し、障害物や信号を認識して自動で停止しながら、歩道を最高時速6キロ程度で走行する実験を行ったというものです。これが見事に成功しまして、これからこういう時代に入っていくのかなということを実感したところでございます。

さて、本日は、地域公共交通計画の改定とコーちゃんバスの路線・ダイヤ改正の検討方針についての討議事項が2件、国庫補助事業の事業評価などについての協議事項が2件、コーちゃんタクシー及び公共ライドシェア実証運行の状況についての報告事項が1件ございます。

公共交通計画の改定につきましては、いよいよパブリックコメント実施前の大詰めの段階となっております。公共交通の将来像や各施策の目標を定め、湖西市の公共交通ネットワークの最適化を図っていくための重要な議論の場となりますので、委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきますよう、本日はどうぞよろしく願いいたします。

3 討議事項

(1) 湖西市地域公共交通計画の改定について

<事務局>

- 資料説明（資料1）

<八木委員>

- 計画本体 P17 の地域公共交通のネットワーク図について、バス路線と背景の人口メッシュの色が同化して見にくいので、視覚的に見やすいよう修正すべき。また、赤枠で国庫補助対象路線の記載があるが、P19 の余白に移動させるのがよい。また、「住民が都市拠点や地域拠点へ移動する際の、重要な移動手段となっています。」という表現は、国庫補助路線のみが重要という捉え方をさ

れないように、言い回しは検討したほうがよく、県や市も費用負担していることを可能であれば加えた方がいいと思う。

- P34 についても、破線のサイズがと背景のメッシュと同じ大きさで見にくいので、視覚的に見やすい工夫をお願いしたい。
- P36 の課題3のわかりやすい情報提供は、計画の目標③持続可能な公共交通につながるものであるので、こちらも線を繋げるべき。

<匂坂委員>

- P1 の計画策定の背景、計画の位置づけについて、都市拠点、地域拠点、生活拠点を結ぶネットワークの役割を公共交通が担っており、これからの湖西市のまちづくりにおける重要なファクターであるということを記載すべき。
- P34 の公共交通の将来像の図に、生活拠点として、入出太田新所など、都市計画マスタープランと合わせて図に記載をお願いしたい。
- P39 について、JR 東海道本線の乗車人数を KPI とすると市の事業内容とかけ離れている印象を受ける。KPI は取組指標ということで、市がコントロールできる JR の利用者維持に寄与する事業としては、例えば、駅周辺の駐車場・駐輪場確保や駅へ向かうバス路線の運行時刻の改正などがあると思う。駅周辺の駐輪場の利用台数や、コーちゃんバスやコーちゃんタクシーの駅での乗降者数などを KPI としてはいかがか。
- P47 の KPI について、50 円バスの乗車人数では、KPI が断片的な印象を受けるため、周知活動の実施回数や、出前講座を受講した市民などに変更してはいかがか。
- P46 の付加価値の創出のところ、「市外からの来訪者が、JR 東海道本線や天竜浜名湖線の駅から観光地や拠点へスムーズに移動できるよう、周遊手段のあり方を検討します。」と記載があるが、事務局としてどのような観光資源や周遊手段をイメージしているか。また、事業内容の来訪者周遊手段の検討については、「他の行政機関と連携した利用促進事業」と統合してもよいのではないか。

<事務局>

- 観光部局と連携し、例えば新居駅からのレンタサイクルや電装キックボードなどの小型のモビリティを活用した周遊手段の検討が考えられる。

<座長>

- 来訪者向けの周遊手段の検討を統合してしまうと、少しランクが下がってしまう印象を受けるので、個人的には別立てのままの方がよいと思う。
- 周知活動の KPI については、50 円バスの乗車人数はそのまま残して、出前講座等の実施回数の KPI を加えてはどうか。実施回数はやればやっただけのアウトプットの指標。それよりも実際やった効果がどうであったのかを図るアウトカムのような指標もあった方がいいと思う。
- JR の乗降客数は直接コントロールできるものではないが、駅へのアクセスがよくなることで、乗降客数が増えるとも考えられるので、そのままでいいのではないか。

<彦坂委員>

- 根本的なことを伺うが、基本方針の「魅力あふれる KOSAI とあなたを繋ぐ」とは誰向けの言葉か。

市民向けの言葉だとすると市民から見た時の魅力あふれる湖西とはなにか。そこが明確でないと、この言葉は浮いている印象を受ける。

<事務局>

- 基本的には、市の総合計画で目指すまちの姿の実現を市全体で進めていくため、その基盤となる人の移動を下支えする交通という考え方の下、今回の案を作成した。

<彦坂委員>

- 総合計画の狙いは、今後施策を行っていく中で魅力のある湖西にしていくというものだと思うので、現時点で魅力に溢れているかのような書きぶりは修正すべきではないか。また、先ほど事務局から説明があったように、魅力ある湖西を作っていくために公共交通はどうあるべきかということ踏まえた記載にすべきと考える。言葉だけ一人歩きしないようにしっかり考えていただきたい。

<座長>

- 修正するとなると今後のスケジュールはいかがか。

<事務局>

- 12/24 までに委員からの修正意見を受け付け、年明けに修正を反映したものを委員へ確認という形で書面にて提示し、その後パブリックコメント実施の予定。

<彦坂委員>

- 基本方針は、市民から見た時に、もっと理解しやすいシンプルな言葉でいい。現在の案は、総合計画の中で目指す市の姿の抽象的な表現にしか見えない。総合計画からもう一段階ブレークダウンした各部局の重点施策の計画であるという前提に立つと、もっと分かりやすい言葉で、市民の足をどう確保していくか、誰もが移動しやすいとかストレートな言葉で表現した方が分かりやすい。

<匂坂委員>

- おっしゃるとおりで、基本方針ということなので、計画のキャッチフレーズとして、簡単な言葉でしっかり伝わる言葉が必要かと思う。

<座長>

- 基本方針については12/24までに、ぜひ委員の皆様からそのままでもいいのか、あるいは変える場合はどのように変えたほうがいいのか、代案もご提案いただく形で事務局までにご意見をいただく形をお願いできればと思います。

(2) コーちゃんパス路線・ダイヤ改正の検討方針について

<事務局>

- 資料説明（資料2）

<座長>

- 見直しのポイントはそれぞれ妥当と考えるが、資料の前半がどちらかというと縮小寄りの方向性の印象を受ける。コーちゃんタクシーの利用実績を踏まえ、場合によっては、利用の多い区間などは、新たにバスあるいはワゴン車を走らせるような考えはないか。

<事務局>

- 資料の表現が削減や縮小寄りになれるようなものになっているが、目指したいのは効率化や集約化であり、場合によっては、ニーズの高いところは、バス路線を手厚くする、一方で日中のニーズの低いところはコーちゃんタクシーでカバーしていくようなメリハリのある再編ができるとうい。

<座長>

- 1人あたりの輸送にかかる負担額をみると、コーちゃんバスとコーちゃんタクシーで大体2倍ほどタクシーの方が高い。少なくともこの1年をみるとバスの利用者は減らずに、コーちゃんタクシーの利用者も増えている状況であり、公共交通政策として、利用者側からすると良い方向に向かっているが、今後、バス路線が縮小してコーちゃんタクシーの利用者が大幅に増えていくと、市のトータルの負担額がどんどん増えていく状況になってしまう。コーちゃんタクシーでカバーしなければならないところと、コーちゃんタクシーの利用状況から見えてくる新たなバス路線等の可能性の検討はしていないといけないと思う。

<事務局>

- 現状においても、傾向として湖西病院や遠鉄ストアはコーちゃんバスの乗降数として上位であり、コーちゃんタクシーの乗降数としても上位の施設である。移動の需要が多いところのバス路線を手厚くして利便性を上げることで、タクシー利用ではなく、バス利用を促すことができうると考える。バス・タクシーの強みを活かして上手く棲み分け・共存ができるとうい。

<座長>

- 利用者が少ない便の車両の小型化など、コーちゃんバス自体の効率化を図っていく必要はあるが、平均の乗車人数だけみていると、危険なこともある。ばらつきが多いと、車両の小型化によって利用者が乗れない時間帯が出ないかなどは注意が必要。

<八木委員>

- コーちゃんタクシーの利用者数について、基準値（R6）から大幅に目標値が増えている理由が資料2を見てよく理解できた。コーちゃんバスとコーちゃんタクシーの使い分け・棲み分けは重要。コーちゃんタクシーは利用者からすると便利であるが、そちらの利用ばかり増えてしまうと市の負担が際限なく増えてしまうので、最適化は難しいとは思いますが、検討を進めていただきたい。

4 協議事項

(1) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

<事務局>

- 資料説明（資料3）

<八木委員>

- 計画の評価等の結果を踏まえていただいているが、引き続きコーちゃんバスやコーちゃんタクシーの改善と、今回のA評価に拘らず、乗車人員の増加に努めていただくようお願いしたい。

<事務局>

- 承知した。細かな記載などは運輸支局と今後調整の上、提出させていただく。

<座長>

- 協議事項（1）「地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

（2）静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会への申し出事項について

<事務局>

- 資料説明（資料4）

<服部委員>

- デマンド型乗合タクシーの運行事業者が浜松バス㈱となっているため、修正されたい。

<事務局>

- ご指摘のとおり、こちらは誤りで正しくは遠鉄タクシー㈱である。申し訳ない。また、企業シャトル BaaS の運行事業者についても㈱デンソーと浜名湖電装㈱の誤りである。大変申し訳ない。修正の上、提出させていただく。

<座長>

- 協議事項（2）「静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会への申し出事項について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

5 報告事項

（1）コーちゃんタクシー及び公共ライドシェア実証運行の状況報告

<事務局>

- 資料説明（資料5）

<座長>

- ライドシェアについて、現時点では供給が需要を超えているので大丈夫とのことだが、次年度以降はどのような方針か。

<事務局>

- 実験という形では一区切りとする予定。現状は一般乗用タクシーやコーちゃんタクシーの供給が十分であるため、そちらでの対応が最優先。他方、ライドシェアの全国の状況などはアンテナを高くし、情報収集に努めていく。

5 閉会

<事務局>

- 以上をもって、令和7年度第3回湖西市地域公共交通会議を終了とします。

以上